

みらいのジュータロー賞
& 松本重太郎賞

ICT×地方創生甲子園 & 京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

令和3年10月29日
京丹後市役所

市では、京丹後発！地方創生×起業家育成プロジェクトとして、京丹後の魅力や課題解決のため、全国の若者（高校生・大学生）からICT技術を活用した新たなビジネスアイデアを提案し、起業・創業へとつなげていくための実践型のプログラムを展開しています。

この度開催する「ICT×地方創生甲子園」では、北海道から鹿児島県まで全国各地から応募のあった109チームの中から選ばれた14チームが出場します。また、同日に開催する「京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021」では、全国各地から7人が出場します。

いずれもオンラインで配信を行いますので、ぜひご視聴ください。

松本重太郎を冠とした賞の創設

『みらいのジュータロー賞』

ICT×地方創生甲子園のグランプリ受賞者・・・賞金10万円

『松本重太郎賞』

京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021のグランプリ受賞者

・・・賞金30万円

京丹後市は、明治期から今に続くいくつもの企業を立ち上げた松本重太郎翁を輩出した地であることから、翁の偉大な功績の顕彰と、これから起業しようとする若者のチャレンジ精神を応援することで、未来の松本重太郎の誕生を願い、「松本重太郎賞」を創設します。

特別協賛

アサヒグループホールディングス株式会社

※松本重太郎が立ち上げに関わった企業であり、グランプリ受賞者に副賞を贈呈いただく予定。

ICT×地方創生甲子園

全国の若者（高校生など）から、京丹後市を盛り上げるための地方創生ビジネスアイデアを募集し、ICT等の先端技術を活用したプログラムをオンラインで発表しグランプリを決定します。

出場者の中には、既に事業活動を行っている高校生起業家のほか、11歳で起業し海外でも活動されている中学生起業家もゲスト出演します。

提案いただいたビジネスアイデアは、市内事業者とのマッチングにより事業化を目指します。

- 日 時：11月7日（日） 午前9時開始
 - 場 所：日進製作所創業記念館（京丹後市峰山町泉 1164）
 - 開催方法：オンライン（YouTubeによるライブ配信）
 - 登壇者：全国から応募のあった14チーム
京丹後市内からは清新高等学校、丹後緑風高等学校網野学舎の2チームが出場予定です！
 - グランプリ：みらいのジュータロー賞（賞金10万円）
 - 後援：デジタル庁
 - 特別協賛：アサヒグループホールディングス株式会社
- ※出場者の詳細は【別紙1】をご覧ください。

京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

地域の課題や観光をテーマに、それらをビジネスで解決する「ソーシャルビジネスアイデア」をU35の地域起業家から募集し、ビジネスプランのプレゼンテーションと審査員による投票でグランプリを決定します。

7人の出場者には、大会終了後も継続して伴走支援し、起業に至るまで継続的にサポートします。

- 日 時：11月7日（日） 午後1時30分開始
 - 場 所：金刀比羅神社絵馬舎（京丹後市峰山町泉 1165-2）
 - 開催方法：登壇者が審査員に対してプレゼンテーションを実施。
オンラインでも配信（YouTubeによるライブ配信）
 - 登壇者：全国から応募のあった7人
 - グランプリ：松本重太郎賞（賞金30万円）
 - 特別協賛：アサヒグループホールディングス株式会社
- ※出場者の詳細は【別紙2】をご覧ください。

～これまでの取り組み～

開催日等	内 容	備 考
6月2日	藤野英人氏オンラインセミナー※ ※国内を代表する投資家、レオスキャピタルワークス株式会社 代表取締役 藤野英人を講師に招き、オンラインで講演会を実施しました。	約350人が事前登録、最大約220人が同時視聴
5月18日 ～7月31日	I C T×地方創生甲子園の出場者募集 (第1次募集)	70チームがエントリー
7月2日～	地方創生に関する若者向けの動画配信 (市長が自ら出演)	
8月21日 ～22日	JAPAN CHALLENGER 実践セミナー in 京丹後	12人が受講
8月23日 ～8月31日	京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021の出場者募集	8人がエントリー
8月1日 ～9月10日	I C T×地方創生甲子園の出場者募集 (第2次募集)	39チームが追加でエントリー
9月20日	出場者決定	

【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課

担当：小石原

TEL 0772-69-0440 / FAX 0772-72-2030

【別紙1】 ICT×地方創生甲子園出場者一覧

チーム	所属	氏名	タイトル	詳細内容	出場時間 (目安)
1	専修大学附属高等学校	佐久間 奎吾	「学生の思い出を作り出す」	修学旅行に着目した観光客誘致の提案。	9:10
2	武蔵野大学附属千代田高等学院	新美 陸人	「逆張りの地方創生」	廃墟を観光地として利用する提案。	9:16
3	埼玉県立所沢中央高等学校	藤井 一磨	「京丹後オリジナルの製品を売り出す」	砂丘紫芋やジャージー牛乳などを使ったマカロンなどのスイーツや飲み物や夕日ヶ浦海岸にあるブランコなどで撮影した写真をTシャツやパーカーにプリントし、そのカップルオリジナルのものを作り販売する。	9:22
		比留間 光弘			
4	大手前高松高等学校	吉井 滉	「ボタンdeツイート」	リアルタイムでお店の営業状況がわかるボタンでTwitterに自動更新。手軽にできてお店も顧客もハッピーに。	9:34
5	秋田県立平成高等学校	柴田 花菜	「日本在住外国人向けのソーシャルメディアを京丹後から創り出す！」	1企業と外国人労働者を繋ぐサービス 2外国人労働者が市の職員やサイト運営スタッフ、他の外国人労働者と相談しあえるようなコミュニティ 3暮らしのポイントや日常で使えるような日本語、日本文化などを記事にして外国人に対して情報提供。	9:40
6	和歌山県立日高高等学校中津分校	佐々木 啓佑	「中津COFFEE」	紀州備長炭を製作する過程で商品にならないサイズの炭が発生する。その炭を活用して京丹後の枝豆を焙煎して販売する。それらをSNSなどを利用し発信する事で、全国に取り組みが知れ渡る仕組みを作る。	9:46
		小崎 航平			
		古谷 友吾			
7	慶應義塾湘南藤沢高等部	井庭 晴香	「Workplace Innovation Nature Kyotango ～京丹後へプチ地方留学～」	大学生向けの地方留学プログラムの提供。 まちのコイン制度を利用し、まちへのボランティアを実施しながら、京丹後のいいところを知ってもらう。 SDGsを絡めた新しいプログラム提供を考案。	10:01
		猿山 玲奈			
		南部 優実			
8	千葉県立銚子商業高等学校	伊勢 桃菜	「体験型飲食店」	訪れた外国人観光客や日本人観光客が、京丹後にある海で自ら魚釣りを体験し、釣れた魚でお刺身や海鮮丼、焼き魚や煮魚を作り提供する体験型のレストラン。	10:07
		高木 碧花			
		宮内 杏海			
9	東京都立多摩高等学校	溝口 琳香	「OUR ROOM」	誰にも邪魔されずに過ごせる自分だけの一部屋を提供。 空き家や、マンションなどの空きスペースを利用して、一人になりたい人のための部屋を貸し出すビジネス。	10:13
10	聖学院高等学校	山口 由人	「新たな未成年の課題解決を促進するエコシステムを日本に。 一般社団法人Sustainable Game」	①Fleareオンラインプラットフォーム：人と世界を知る場を増やす ②中高生と企業のESG共創環境の構築：課題発見と解決に向けたスキル獲得 ③ソーシャルグッドなリアリティ番組「SPINZ」：共創のインフラを整える	10:28
11	東京都立多摩高等学校	高橋 広斗	「まちの鬼伝説」	鬼伝説が残る立岩で鬼ごっこをしながら町のためのボランティア活動を実施するツアーの企画提案。 まちのコイン×本気のアソビで京丹後を盛り上げる。	10:34
12	筑波大学附属坂戸高等学校	川田 かな	「どこでもウォーターサーバー」	自動販売機よりも安く、好きな量を、好きな時に水を飲める！学生にも環境にも優しいウォーターサーバーを置くビジネス。	10:40
	屋久島おおぞら高等学校	星加 拓海			
13	京都府立丹後緑風高等学校 網野学舎	井上 愛結	「京丹後マップアプリ」	京丹後自慢をぎゅっと集めたマップアプリ！みんなの投稿で京丹後のいいところがすぐにわかる！	10:55
		小倉 七海			
		坂本 祐亜			
		野村 諒太			
		人羅 海留			
山中 莉彩					
14	京都府立清新高等学校	折戸 志帆	「京丹後の贈り物」	たんごちりめんの新しいギフトの形。京丹後名物を全国へ！	11:01
		近藤 ことは			
		鈴木 怜菜			
		高山 桃子			
		西山 爽太			

【別紙2】京丹後市発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2021 出場者一覧

No	住所	氏名	タイトル	詳細内容	出場時間 (目安)
1	京都府京丹後市	藤村 幸澄	「スマホで地方応援！全く新しいスマートフォン教室のカタチ」	これまでのキャリアショップが行っていた「携帯販売」を中心としたビジネスモデルではなく、スマホ教室等のサポート商材を中心にしたビジネスモデルを創る。	13:55
2	大阪府	浅川 遼太郎	「京丹後発！！和製スマートシティ」	Bamboo Mobility Kickboardで急速に欧米化する日本をより日本らしく発展できるような「和製スマートシティ」を京丹後から創造する。	14:15
3	京都府京丹後市	小島 怜	「おいしい！を耕そう。」	京丹後の規格外野菜を利用した乾燥野菜チップスの販売。	14:27
4	鹿児島県	福崎 智子	「まちの小さなハローワークですべての働きたいに応える！」	「フルタイムで通年雇えるような体力はない」「忙しい時だけ短期で来てほしい」等の雇用側の事情と「1日8時間は働けない」「小さな子供がいる」などの小さな仕事や小さな条件のコーディネートを京丹後で実現。	14:39
5	栃木県	鈴木 秀顕	「SDGsスクール・プロジェクト京丹後」	地元を元気にする起爆剤として、地元をよく知る高校生をとんがらせていくプロジェクト。地元の高校生のための教育プロジェクトを京丹後にて実施。	15:01
6	神奈川県	安田 大輝	「地元に戻れば帰るほど喜ばれるアナタになるマッチングサービス、Guild」	「地域の季節的・一時的な人材不足」と「繋がりが欲しい人」を結ぶ地域特化型マッチングプラットフォーム「Guildサービス」。	15:13
7	京都府京丹後市	野木 久聖	「SDGs未来都市京丹後 究極の地産地消モデル～これで移住者を取り込め！～」	半農半X（遊・観・楽・喜・健・学）型の体験農園の開設。	15:25

【別紙3】 審査員一覧

No	氏名	所属	役職名	ICT	AWARD
1	柳澤 大輔	面白法人カヤック	代表取締役CEO	○	○
2	中山 泰	京丹後市	市長	○	○
3	藤野 英人	レオス・キャピタルワークス株式会社	代表取締役会長兼社長	○	○
4	池田 香代子	京丹後 (宿) おかみさんの会	座長	○	○
5	中村 伊知哉	iU情報経営イノベーション専門職大学	学長	○	
6	平野 卓	株式会社日進製作所	代表取締役社長	○	○
7	美濃 和男	株式会社WOW WORLD	代表取締役社長	○	○